

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36403	デッサン Dessin	小山田尚弘		専門	1	選択	1、2前期

## 科目の概要

油絵・日本画・彫刻などの美術作品やデザイン作品を制作する上でデッサンは基礎となる大切なものです。この授業では、できるだけ幅広くデッサンの基礎力が身につくように多種類のデッサン技法の習得を目指します。この授業で学ぶデッサンの種類としては、鉛筆デッサン・淡彩デッサン・クロッキーなどのデッサンを学びます。授業をとおして、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、独自の表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。

学修内容	到達目標
① デッサンの基本技術を身に付ける。 ② 鉛筆や水彩などの淡彩について学ぶ。 ③ 質感や量感について学ぶ。 ④ 鉛筆のクロッキーの技術を身に付ける。	① 基本的なデッサン力を身につけることができる ② 色鉛筆や水彩などの淡彩について理解でき上手に描くことができる ③ 質感や量感について自由にデッサン表現し描くことができる ④ 鉛筆のクロッキーの技術を身に付け、短時間で上手に対象物を描くことができる

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず教員に質問をして解決した。
	働きかけ力	
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動した。
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。
	計画力	
	創造力	授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。
チームで働く力	発信力	質問事項を話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明した。
	傾聴力	教員から聞いた話の中で分からない点があればそのままにせず、確認した。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じてプリントを配布する  
参考文献：なし

## 他科目との関連、資格との関連

他の科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン  
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> <li>形や質感など、じっくり見て描くことがデッサンを上達させます。</li> <li>できるだけ形を正確に描くことが基本となります。</li> <li>鉛筆は、3Hから6Bまでのものを準備して描くと、細かな濃淡の差が描けて良い作品に仕上がると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席が必要日数に満たない場合は無資格となる。</li> <li>欠席や遅刻の多い学生・授業態度の悪い学生はマイナスに評価する。</li> <li>作品の提出期限を過ぎても提出は認めない。</li> <li>作品の制作点数は5～6作品くらい仕上げます</li> <li>授業で使用する画用紙や鉛筆、消しゴム、練ゴムは各自で準備すること。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント								
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①									
				②									
				③									
				④									
	平常評価	小テスト		0	①								
					②								
					③								
					④								
		レポート		0	①								
					②								
					③								
					④								
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓						・制作した作品については完成度（特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成はしているが仕上がりは普通：B、完成はしているが仕上がりは悪い：C、完成できてない：D）を評価する。デッサンの技法をもとに画用紙にデッサンが描くことができる。	
					②	✓							
					③	✓							
					④	✓							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓						主体性：予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず先生に質問をして解決できる。 実行力：失敗やトラブルがあっても諦めず、目標達成に向けて行動できる。 課題発見力：自分の学修上の問題点を考えることができる。 創造力：授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができる。 発信力：話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意して解決できる。 傾聴力：相手から聞いた話の中で分からない点があればそのままにせず、確認し解決できる。 規律性：提出物の期限を守ることができる。遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。			
			②	✓									
			③	✓									
			④	✓									
総合評価割合		100											

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>デッサンの技法を使い画用紙に7～8枚のデッサン作品を描く。A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、デッサンの技法に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストや空気遠近法なども表現できている。</li> <li>・練ゴムの使い方も上手である。</li> <li>・クロッキーの描き方も早くて的確に描ける。</li> </ul> <p>S：Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品は多くの学生から高い評価を得ている。・デッサンの知識や技術などが一定レベル向上していて大変素晴らしい作品である。</p>	<p>B：制作課題を完成できており、デッサンの知識や技術（練ゴムの使い方、空気遠近法など）は一定レベルに達しているが、作品の良さや魅力をあまり感じない。</p> <p>C：制作課題を提出できた。（先生の指示を受けないと制作を進めることができない。作品の仕上がりに粗雑なところがみられる。デッサンの知識や技術が未熟。）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の内容やスケ ジュールなどについて 説明します。参考見本 などを見せながら制作 の説明をします。自分 の手をデッサンして仕 上げる。	講義と質疑応答	授業についての取り組 みを理解し、デッサン の概要を把握すること ができる	(復習) 授業の内容について説 明した内容を復習する デザインや色彩の計画 を行っておく	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	基礎技術の修得① 鉛筆の持ち方、鉛筆の 種類、練りゴムの使用 法穂について説明す る。立体の描き方法に ついて学ぶ。画用紙で 立方体を2個制作す る。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	鉛筆の持ち方、鉛筆の 種類、練りゴムの使用 方法について理解でき ている。	(予習)立体の描き方法 について復習し理解し ておく (復習)鉛筆の持ち 方、鉛筆の種類、練り ゴムの使用法穂につい てまとめる	90	主体性 課題発 見力 創造力
3	基礎技術の修得② デッサンの構図の取り 方、立体表現、影の描 き方、ボリューム感つ け方、対比効果、など について学習する。学 生の個性や長所などが 伸ばせるように指導す る。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	デッサンの構図の取り 方、立体表現、影の描 き方、ボリューム感つ け方など意識して描こ とができる	(予習)空き時間にデッ サンの練習を重ねて描 いておく(復習)デッ サンの構図の取り方、 立体表現、影の描き 方、ボリューム感つけ 方、対比効果、などに ついてまとめる	90	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 傾聴力
4	質感表現① ビン、紙、布、などの 異質な質感のモチーフ を組み合わせせて描く。 影の表現方法や距離感 などについても学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	ビン、紙、布、などの 異質な質感のモチフ を組み合わせせて描き、 影の表現方法や距離感 などについて練習でき ている。	(予習)影の表現方法や空 気遠近法などの距離感 を出す練習をしておく (復習)ビン、紙、布、な どの異質な質感のモチフ を組み合わせせて描く、 影の表現方法や距離感な どについてまとめる	90	主体性 課題発 見力 創造力 傾聴力
5	質感表現② 仕上げに向けての手順 計画など、学生個々の 進度に無理がないか確 認しながら授業を進め る。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する	仕上げに向けての手順 計画などまとめ確認し 練習できる	(予習)練りゴムを使っ てたくさん描き込んでお く。 存在感、実在感など表 現できるように練習す る (復習)仕上げに向け ての手順計画など無理 がないか確認する	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
6	計画と手順 計画どおりに描けてい るか、問題点となるも のではないかと、一人づ つ確認して指導してい く。さらに、画面構成 の方法や存在感などに ついて学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	計画どおりに描けてい るか、問題点となるも のではないかと確認しな がら仕上げ描く事がで きる	(予習)質感や量感につ いて理解できるまで描 き込んでおく(復習) 画面構成の方法や存在 感などについてまとめ る	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力
7	色鉛筆のデッサン ペットボトル、ハンカ チ、小物、ガラスコッ プ、シャープペンシル などを組み合わせせて仕 上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	ペットボトル、ハンカ チ、小物、ガラスコッ プ、シャープペンシル などを組み合わせせて仕 上げる事ができている。	(予習)異素材などの質感 の表現は鉛筆の濃淡の鉛筆 を使い分けて表現し仕上 げる(復習)ペットボ トル、ハンカチ、小物、 ガラスコップ、シャープ ペンシルなどを組み合 わせて仕上げデッサン の基礎技術の修得につ いてまとめる	90	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力
8	色鉛筆の技法 色鉛筆の色の塗り方、 デッサンのまとめ方法 などについて学生個々 に説明する	講義と実習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、 フィードバックし講評 する。	色鉛筆の色の塗り方、 デッサンのまとめ方法 などについて確認す ることができている。	(予習)色鉛筆に使い慣 れるよう練習を重ねて おく (復習)自分のデッサ ンの良い所と欠点につ いてまとめ、欠点は良 くなるように努力して 改善に努める	90	主体性 課題発 見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	色鉛筆デッサン バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ方も学ぶ	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ描くことができている。	(予習) 空気遠近法など遠近感の練習をした後、画面の強弱の表現の練習を重ねておく (復習) バランス、影の描き重ね方法、空気遠近法などによる遠近感、画面の強弱のつけ方についてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
10	デッサンとクロッキー ① デッサンするモチーフ数を増して描いてもらう。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンするモチーフ数を増して描く。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げる事ができている。	(予習) 全体的に描く書き込む練習する(復習) デッサンするモチーフ数を増して描いてもらう。扇風機などを使ってクロッキーで仕上げるについてまとめる	90	主体性 課題発見力 創造力
11	デッサンとクロッキー ② 大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けるように練習する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学の中庭にある木をクロッキーで仕上げる。仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けることができている。	(予習) クロッキーの練習では細やかな形より大きく形を捉えて描ける練習をして描き上げる (復習) 仕上げ時間は5分間、3分間、1分間と少なくして早く描けるように練習しておく	90	主体性 課題発見力 創造力
12	デッサンとクロッキー ③ 学内の建物などをクロッキーで、短時間で仕上げる。水彩絵の具、ポスターカラーなどを薄く塗って仕上げる	デッサンとクロッキー ③ 学内の建物などをクロッキー技法を使い短時間で仕上げる。水彩絵の具、ポスターカラーなどを薄く塗って仕上げる	学内の建物などをクロッキーで短時間で仕上げ、水彩絵の具や色鉛筆などを薄く塗って仕上げる事ができている。	(予習) 水彩絵の具や色鉛筆などを使い深みを出せるように練習を重ねる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる	90	主体性 課題発見力 創造力
13	デッサンとクロッキー ④ 形が正しく正確に描けているか。質感表現やボリューム感などに問題は無いのか、一人ずつ確認する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	質感表現やボリューム感上手に描く練習を重ね、上手に描き上げることができている。	(予習) デッサンやクロッキーの練習を自宅でも行い上達できるように練習する(復習) 形が正しく正確に描けているか、質感表現やボリューム感などについてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14	デッサンとクロッキー ⑤ 鉛筆淡彩の仕上げ方法について解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンを色鉛筆で仕上げる事ができる。	(予習) 鉛筆淡彩で描く練習を繰り返し練習しておく (復習) 鉛筆淡彩の仕上げの方法についてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
15	まとめ 学生が授業で仕上げたデッサンを並べて批評する。上手に見せるにはどうしたらいいかなど解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デッサンやクロッキーを数多く描き良い作品に仕上げることが出来る。	(予習) デッサンとクロッキーの技法や知識についてまとめる (復習) デッサンの基礎技術の修得についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力